埼玉トヨペット Green Brave GR 86/BRZ Race YARIS GB CAMP

2021 RACE REPORT

GAZOO Racing 86/BRZ Race 第4戦／第5戦
GAZOO Racing Yaris Cup 東日本シリーズ第2戦

7月24日（土）～25日（日）
スポーツランドSUGO（宮城県村田町）

GAZOO Racing 86/BRZ Race プロフェッショナルシリーズ

■■今季初の W ヘッダー開催。第 4 戦で川合選手が 4 位入賞■■

SUGO 大会は今シーズン初の 1 ラウンド 2 レース開催。予選は土曜日に行われ、第 4 戦の決勝は土曜日、第 5 戦は日曜日に行われました。エントリー台数は 28 台。

土曜日の天候は晴れ。プロシリーズの予選は 10 時 15 分から 15 分間で行われ、ベストタイム順で第 4 戦、セカンドベストタイム順で第 5 戦のスターティンググリッドが決まります。吉田選手と川合選手は予選開始と同時にコースに入り、2 周目からアタックを行います。両選手ともに 2 周連続で計測を行い、吉田選手は 1 分 39 秒 483、1 分 40 秒 121 をマーク。第 4 戦の予選が 8 位、第 5 戦は 9 位となりました。川合選手のタイムは 1 分 39 秒 180、1 分 39 秒 847 で、第 4 戦の予選が 6 位、第 5 戦は 2 位。第 4 戦の決勝は 15 時 40 分から 13 周で行われ、川合選手が 6 位、吉田選手が 9 位で 1 周目を終了。川合選手は 8 周目に松井選手をパスし、5 位に上がるとポジションをキープし、5 位でチェッカーを受けました。また、吉田選手は 8 周目に冨林選手をパスし、予選順位と同じ 8 位でフィニッシュ。上位の選手にペナルティが課されたため、正式結果は川合選手が 4 位、吉田選手が 7 位となりました。

日曜日の天候も晴。第 5 戦のタイヤは第 4 戦のユーズドをそのまま使用するため、タイヤの状態が非常に気になるところです。2 番手スタートの川合選手、9 番手スタートの吉田選手ともにポジションをキープして 1 周目を終了。川合選手は他社製タイヤを装着したライバルに攻め立てられており、苦しい展開です。2 周目に 3 位となり、その後はポジションをキープしますが、フェンダー内部のパーツとタイヤが干渉するトラブルが発生しており、11 周目終了時にストップ。川合選手は完走扱いの 23 位となりました。吉田選手も集団の中で劣勢のレースを強いられ、14 位チェッカー。開幕戦から続いてきた吉田選手の 4 戦連続入賞がストップしました。今回の結果により、ランキング上位とのポイント差は拡大しましたが、今シーズンはまだ 6 戦あります。吉田、川合両選手の巻き返しに期待です。

＃160　埼玉トヨペット GB 86 BS
吉田 広樹

第 4 戦	第 5 戦
決勝：7 位	**決勝：14 位**
予選 8 位	予選 9 位
（1 分 39 秒 483）	（1 分 40 秒 121）

■第 4 戦：決勝はスタートで 1 つ順位を下げてしまったので、どうにか戻したいという思いで走っていました。自分のペースが良さそうだったので、いろいろなところで仕掛けたのですが、決め手を欠きました。相手のタイヤが落ちてきたところでチャンスがあり、オーバーテイクできたのですが、これ以上前を走ろうと思うと、予選でもっと上位にいかないと厳しいかなと。明日の 2 レース目に活かしたいと思います。

■第 5 戦：予想通り、厳しいレースでした。ポジションをひとつ落として、前の集団がやり合っているとついていけるのですが、単独だと同じぐらいの距離感で走るしかなかったです。最後の周、自分を含めた 7 位争いに後ろの集団もくっついたのですが、余力は残っておらず、最後は 14 位で終わってしまいました。

＃521　埼玉トヨペット GB 86 BS
川合 孝汰

第 4 戦	第 5 戦
決勝：4 位	**決勝：23 位**
予選 6 位	予選 2 位
（1 分 39 秒 180）	（1 分 39 秒 847）

■第 4 戦：内側からの 6 番手スタートで、ちょっと砂っぽいところがあったのですが、まずまず決まりました。前の 4 番手争いが激しかったので、いきたかったのですが、明日が 2 番手スタートということもあり、チャンスがあれば順位を上げられるような、そんな準備をしていました。5 位に上がった後、後ろも離れていたので、タイヤを温存して、クルマをいたわりながら走行しました。

■第 5 戦：他社製タイヤを使うライバルと比べて、ペースはあまり良くありませんでした。序盤から左リアタイヤに違和感を抱えて走行していたのですが、ライナーというパーツが外れてしまい、左リアタイヤと干渉したことでタイヤが使用不能に。このまま走り続けると他のドライバーに迷惑をかけてしまうと思い、ハザードをつけて戦線を離れました。

©2021 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

GAZOO Racing 86/BRZ Race クラブマンシリーズ(エキスパート) ／ Yaris Cup 東日本シリーズ

■■地頭所選手は連勝ならず。大森選手はヤリスカップ優勝■■

SUGO ラウンドは 86/BRZ レースとヤリスカップの併催。GB キャンプから 86 の地頭所選手、ヤリスの大森選手と田中選手の 3 名が出場しました。

86/BRZ レースのクラブマンシリーズ（エキスパート）のエントリー台数は 20 台。地頭所選手はこれまで 3 戦 2 勝という成績を残しており、目標は 2 連勝です。予選では地頭所選手が 2 周連続のアタックを行い、1 分 40 秒 743、1 分 41 秒 041 をマーク。第 4 戦の予選が 4 位、第 5 戦は 3 位となりました。「4 コーナーとレインボーコーナーでロスしてしまいました」と悔しそうな地頭所選手。第 4 戦の決勝は 14 時 50 分から行われ、地頭所選手はスタートで順位を下げるも、2 周目に 4 位に復帰。さらに 9 周目の 1 コーナーで前の選手を抜き 3 位に。ファイナルラップまで油断のできない展開が続きましたが、ポジションを守り切り 3 位でチェッカー。表彰台の一角に食い込みました。第 5 戦の決勝は日曜日の 8 時 50 分から。前日の決勝でタイヤを使い過ぎてしまった地頭所選手は防戦に終始します。予選順位から 3 つポジションを下げ、6 位でチェッカー。この結果により、ランキングは 2 位に後退しましたが、トップとのポイント差はわずか 1 点です。地頭所選手は次戦でのリベンジを誓ってくれました。

ヤリスカップのエントリー台数は 64 台。日曜日に予選と決勝を行う 1DAY 開催です。予選では練習から好調の大森選手が、目標通りポールポジションを獲得。10 周の決勝は 2 回のセーフティカーと赤旗中断を挟む荒れた展開となりましたが、大森選手は落ち着いてトップを守り切りポールトゥウィンを達成。GB キャンプの歴史に新たな 1 ページを加えました。また、開幕戦で公式レースデビューを果たした田中選手は、予選でベストタイムを更新する力強い走りを披露するも、惜しくも決勝進出ならず。4 周のコンソレーションレースに出場し、13 位でチェッカーを受けました。次戦、十勝スピードウェイも 86/BRZ レースとヤリスカップの併催。GB キャンプでスキルを磨く、3 人の進化にご注目ください。

＃522 GB CAMP 86
地頭所 光
第 4 戦　決勝：3 位
予選 4 位（1 分 40 秒 743）

第 5 戦　決勝：6 位
予選 3 位（1 分 41 秒 041）

■第 4 戦
スタートで位置取りをミスってしまい、5 番手に後退してしまいました。冷静にチャンスをうかがい、1 台 1 台抜き、3 位まで上がることができました。なんとか表彰台に登ることができたので、そこは良かったと思いますが、タイヤを使いすぎてしまったので、明日の第 5 戦が苦しそうな感じです。

■第 5 戦
3 位スタートからそのままいけば表彰台も見えていたのですが、スタートで 7 位までドロップしてしまいました。前が塞がっていた上に、仕掛けるタイミングもなく、6 位チェッカーとなってしまい、ランキング的にも痛い結果となってしまいました。

＃523 GB CAMP Yaris
大森和也
決勝 1 位
予選 A 組 1 位（1 分 50 秒 314）

■予選後
ゼロスタートからのたった 2 戦で、ヴィッツレースの経験を持たない埼玉トヨペットがこの位置まで来られたのは、チーム力以外の何物でもないと思います。スタートが得意なので、ジャンプスタートにならない程度にスタートを決めて、逃げ切りたいと思います。

■決勝後
セーフティカーが 2 回出たので、展開的には有利でした。実質的な周回数は 5 周ぐらいで、すごく楽でしたが、結果は結果です。まずは優勝できたことを喜びたいと思います。赤旗明け、1 周おさえきれば勝てるという状況でしたが、絶対にミスはできないので緊張しました。

＃524 GB CAMP Yaris
田中 聡
コンソレーションレース 13 位
予選 49 位（A 組 23 位、1 分 52 秒 990）
※4 番グリッドスタート

■予選後
決勝進出が目標で、川合選手から 52 秒台を出しましょうと、教えてもらっていました。ボトムスピードを落とさないようにと言われていたので、そこを意識してアタックしました。52 秒台の自己ベストをマークでき、最低限のところはクリアしたかなと思います。

■決勝後
スタートでまわりを見てしまい、また出遅れてしまいました。まわりを意識せず、自分を信じて出れば良かったです。前のクルマについていけたので、結構楽しかったのですが、シフトミスをしてしまい、順位を下げてしまいました。とにかく決勝に進出して、ベストを尽くしたいですね。

©2021 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.

PARTNERS

株式会社アイ・ディ・アイ

EMG ルブリカンツ合同会社

株式会社エヌ・ティ・コーポレーション

株式会社 FM NACK5

大宮クリーン社・大進カーエアコン

株式会社岡崎巧芸

株式会社カーグラス・ＪＰ

埼群スリーボンド株式会社

埼玉トヨペットホールディングス株式会社

株式会社テレビ埼玉

株式会社デンソーソリューション

株式会社ドーム

トヨタモビリティパーツ株式会社

株式会社ハッポーライフ彩生

株式会社ブリヂストン

丸和工業株式会社

株式会社リビコー

レカロ株式会社

©2021 Saitama Toyopet co.,Ltd All Rights Reserved.